

令和4年度 1年 現代の国語 シラバス

科目	現代文	単位	2	対象	1年
使用教科書		『現代の国語』 大修館書店			

1. 目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 学習内容

【知識・技能】

- ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること。
- イ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。
- ウ 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。
- エ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。

【思考力・判断力・表現力】

A 話すこと・聞くこと

- ア 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫すること。
- イ 自分の考えについてスピーチをしたり、それを聞いて、同意したり、質問したり、論拠を示して反論したりする活動。

B 書くこと

- ア 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。
- イ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。

C 読むこと

- ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。
- イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

3. 授業の展開と形態

- ・情報処理・スポーツ・健康コース：2クラス3展開
- ・普通コース：単独クラス

4. 評価方法

(1) 観点別評価とする。

(2) 評価の内訳は①知識・技能 5割・②思考力・判断力・表現力 3割・主体的に学ぶ態度 2割とする。

(3) 各観点別評価は a b c の 3段階評価とし、それぞれ以下の観点で評価する。

観点別評価	割合	主な評価物	a	b	c
①知識・技能	5割	定期テスト	70点以上	40点～69点	39点以下
②思考力・判断力・表現力	3割	意見文 読書感想文 言語活動	①8割以上書けている。 ②誤字脱字がない。 ③筋道立てて書いている。	①半分以上 8割未満書いている。 ②誤字脱字がある。 ③段落・構成が立てられていない。	①半分以下しか書けていない。 ②誤字脱字が目立つ。 ③段落がない。
③主体性	2割	学習態度 ワークシート 提出物	学んだことを、自己の人生や社会に生かそうとしている。	単元当初と比較して、改善・成長している。	単元当初と比較して、改善・成長していない。

5. 学習方法及び履修上の注意

- ・学習用具（教科書、ノート、ファイル、筆記用具等）を忘れない。
- ・毎時間、ノートまたは学習プリントをまとめる。
- ・授業には遅れずに参加し、集中して取り組むこと。
- ・提出物は確実に期限を守って提出すること。
- ・家庭では、予習・復習を行い、宿題にも取り組むこと。